

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第2部門第6区分  
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2009-543733(P2009-543733A)  
【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)  
【年通号数】公開・登録公報2009-049  
【出願番号】特願2009-518942(P2009-518942)  
【国際特許分類】

B 6 5 D 83/40 (2006.01)

B 0 5 B 9/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 E

B 0 5 B 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月21日(2010.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スプレー容器受入手段及びスプレー容器作動手段を備えたスプレー装置であって、前記スプレー容器作動手段は、カバープレートを有すると共に、使用中、レバーアームによってスプレー容器から定期的にスプレー材を噴出させるようにされ、

前記レバーアームには、カバープレートの前面で湾曲開口部を定めるスロットを通して、前記アームの前面から離れるように垂直に突出する、前記アームの突起によって規定される位置表示手段が組み込まれ、

前記スロットは、互いに角度をなしたスプレー容器受入部及び突起移動部を有し、使用中、前記レバーアームは、前記湾曲開口部内を移動し、前記位置表示手段は、ユーザが前記レバーアームの位置を調整できるようにされた位置調整手段で構成される、

ことを特徴とするスプレー装置。

【請求項2】

前記突起は前記レバーアームの下縁から突出する、ことを特徴とする請求項1に記載のスプレー装置。

【請求項3】

前記突起は前記レバーアームの突出ランドから突出する、ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載のスプレー装置。

【請求項4】

前記突起はその端部に向けてテーパ付けられている、ことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のスプレー装置。

【請求項5】

前記レバーアームは、下降位置と上昇位置との間で移動すべく動作可能である、ことを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1項に記載のスプレー装置。

【請求項6】

前記レバーアームは、前記レバーアームを前記下降位置と前記上昇位置との間で旋回運動させるように、前記スプレー容器作動手段の歯車に係合する歯部を有する、ことを特徴とする請求項5に記載のスプレー装置。

**【請求項 7】**

前記突起は、前記下降位置にある場合、前記スプレー容器の上面に対してほぼ平行であるか、或いは同一平面上にある、  
ことを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載のスプレー装置。

**【請求項 8】**

前記スプレー容器受入部及び前記突起移動部の間の角度は、くの字である、ことを特徴とする請求項 1 に記載のスプレー装置。

**【請求項 9】**

前記突起移動部は、前記突起を前記下降位置と前記上昇位置との間で妨害されずに動かせるようにされる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載のスプレー装置。

**【請求項 10】**

スプレー容器を含む、  
ことを特徴とする請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載のスプレー装置。